

(1) (a)

→ have an allergy to ... = be allergic to ... = 「... に対するアレルギーがある」である。なお花粉症のことは hay fever と呼ぶこともある。(hay = 「干し草」であり、かつて牧草が原因のアレルギーを hay fever と呼んでいたことに由来する。)

(2) (c)

→ 一見(a)の had a cold も良さそうだが、これだと風邪をひいていた状態が月曜だけということになってしまい、一週間学校を休んでいたことと矛盾する。風邪をひき始めるという動作 (変化)を表すのは catch a cold である。

(3) (a)

→ medicine は「薬」と「医学」の二つの意味を持つ多義語なので注意したい。「薬学」は pharmaceuticals である。

(4) (a)

→ 錠剤のことは pills または tablets と呼ぶが、日本語と違って drink (飲む) ことは出来ないので注意。take もしくは swallow するようにしよう。なお、(the) pill は特に「経口避妊薬, ピル」のことを指すことがあり、これは日本語と同じである。(d)の doses は一回分の服用量の薬という意味であり、空欄に入りうる単語であるが「錠剤」という意味ではないため不適。

(5) (b)

→ a pregnant woman = an expecting mother = 「妊娠中の女性」である。

(6) (a)

→ (b)の psychiatrist は「精神科医」、(c)の pharmacist は「薬剤師」、(d)の vet は veterinarian の略で「獣医」のことである。

(7) (b)

→ (a)の「治療」は treatment, (c)の「検査」は checkup, (d)の「判断」は judgement もしくは decision である。

(8) (d)

→ (a)の cavity は「穴」のことではあるが、「虫歯」のことを指すので不適。

(9) (c)

→ (a)の abscess は一つだけ桁違いの難単語であるが、「膿瘍」のことである。

(10) (b)

→ the flu はインフルエンザの略称であり、一般的によく用いられる。